

議会報告会報告書

平成28年2月15日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

B班

代表 長谷川知司

平成28年第1回議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成28年 2月 5日 (金) 19:00～ 20:05

2 開催場所

きらら交流館

3 参加人数 (市民)

6 人

4 担当班議員名

(河崎平男) (笹木慶之) (下瀬俊夫) (長谷川知司)
(松尾数則) (吉永美子)

5 報告会次第

(1) 市議会代表挨拶 (長谷川知司)

(2) 政策提言及び理科大報告

① 総務文教常任委員会 (笹木慶之) [司会] (河崎平男)

② 民生福祉常任委員会 (吉永美子) [記録] (下瀬俊夫)

③ 産業建設常任委員会 (松尾数則) [受付] (下瀬俊夫)

④ 山口東京理科大学公立化調査検討特別委員会 (長谷川知司)

(3) 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 若者を外に出さない、内に呼び込み定住者を増やしていくための若者交流が少なくなっていて市がその場所を提供していたが、現在は休止になったというが、これは継続的に推進することが大事ではないか。

[回 答]

市で出会いの場を作り実践をしてきたが、思ったような成果が表れなかったという事で、中止ではなく小休止をしようということになった。

- ② 大変よくまとめていて、これを市が受け止めて実行し、市民参加のもとで本当にそれが実現ができるように要望したい。

- ③ 熊野神社は歴史的に大事で、調査して生かしてほしい。焼野海岸で太陽光のパネル設置がされたために、地元の「焼野ウォーク」のコースが変更になった。海岸の整備に文句はないが、釣りもできなくなるなど産業が市民の憩いの場と共存するよう、地元貢献するような協力が必要ではないか。

[回 答]

貴重な意見として受け止めたい。

- ④ 薬学部設置については、初めから場当たりので市長の一方通行のような形で進められて来た。議会も3対3で委員長裁定で可決されたという。議会も圧倒的多数で進めていくことが大事だ。市民に迷惑をかけないと言いながら結果的に迷惑をかけることになる。薬学部の設置を前提に市は公立化を進めているのか。

[回 答]

薬学部を設置することで工学部を公立化する協定を結んだと聞いている。工学部だけでは弱いということだった。

- ⑤ 宇部市が最初に受けなかったと聞くが、一市長の判断だけで市民が置いてきぼりで、市民の賛成のもとで物事を進めるべきだ。文科省はOKなのか。大きな不安の中でこんな大きな物事をすすめるのは反対だ。

[回 答]

同じような考え方で議会も執行部に問い質した。宇部市との協定も議会が知ったのは1週間前という状況で、それを追及したら「風評被害なども懸念されたので、秘密裡に進めてきた」という答弁であった。

- ⑥ 12月議会で下瀬議員の一般質問に関して質問したい。
接待と疑われる行動は慎むべきだと考えていたが、執行部の答弁はみんながかばい合っているように聞こえた。これは議会が舐められているのではないか。執行部への不信感が強くなった。質問の中の警察の事情聴取を受けた職員とベトナムに出張した職員は同一なのか。

[回 答]

同一人物である。市長から私宛ての手紙で事情聴取を認めた上で、市長自身が警察に「任意による事情聴取をやめてほしい」と掛け合っている。それと1月5日に私自身が警察に告発をした。

⑦ 党派を超えた問題だ。各議員の意見を聞きたい。

[回 答]

その意見はここにいる議員としては答えにくいと思う。本会議でも執行部は「答えられない」という答弁だったし、この問題がすべての議員の共通認識になっているわけではないので、私自身の責任で執行部に解明を求めていきたい。